

議題：大田区立道塚小学校 第 1 回学校運営協議会

日時：2023 年 4 月 22 日（土曜） 10:00-12:10

場所：道塚小学校 2 階 家庭科室

出席：

（委員）

河合会長、横山委員、加藤委員、岩井委員、花島委員

鶴岡委員、野崎委員、多田委員、瀬尾委員

安田委員、宮城委員、細川委員（記）

（学校）

大場校長、藤田副校長、先生方

議事内容：

◆会長挨拶

→昨年度はありがとうございました。

→今年度は①地域の方々に CS を周知すること、②活動するための学校の仕組みや環境を整えること、③地域の人材をいれること、をがんばっていきたいと思います。

◆校長挨拶

→今年度もよろしくお願いします。

→4 月も 3 週目となり、先生方もリセットされて順調な滑り出します。

（報告・協議事項）

◆教職員の異動について

→大場校長から教職員の異動について説明があった。

◆学校運営組織図について

→藤田副校長から学校運営組織図について説明があった。

→学校運営協議会および地域の会を位置づけ

→2 名の主幹配下に教員活動を位置づけ

→7 つの特設委員会、特別支援の割合が膨らんできている

→2 つの常設委員会 A,B、→先生方は A,B のどちらかに入る

→情報公開 ICT の位置づけが大きくなっている

→時期に依存する仕事があり、仕事量がなるべく均等になるように配置している。

→職員会議は毎月行っていない、文書提案し夕会で協議するなどやっている。

◆学校経営方針について

●学校状況について大場校長から説明があった。

→児童数 527 名、420 世帯、昨年度とあまり変わらず。

→アレルギー児童、健康配慮児童、外国籍児童など、先生は名簿をもらったら児童のことを考える

●4/14,17 に保護者会を実施、校長から全体会で伝えた内容の説明があった。

→今年度、道塚小学校 85 周年、PTA 積立金から体育館ステージの幕を購入していただいた。

- 85周年開校集会（11月）、航空写真撮影（5月11日）、クラス写真の撮影（4月済）
- 教職員を紹介、1/3がパパ・ママ世代であり、複数体制でやる配慮が必要。
- 働き方改革、残業規制があり80H/月以上の残業はNG
- 勤務時間内の電話は可
- 学校だけなく、学校・家庭・地域で児童を育てる、みんなでがんばる。
  - （ゆ）のつく言葉、ゆだね・ゆるし・ゆづる で育ててほしい
  - 低学年は（そ）のつく言葉で聞いてあげてほしい
  - 高学年は、思春期であり言葉に出せない気持ちを聞いてあげてほしい
    - 否定的な言葉が受け入れられない、決めつけでなくタイミングにあった言葉が重要
  - 今は親も不安、子どもが学校から帰ったら「楽しい」って言えるように思わせて帰らせる
    - 一人ひとりの活動が充実、分かりやすい授業を心掛ける
- 高学年は専科制を実施、担任だけでなくいろいろな先生が児童を見る。
- 体験活動の充実、質をあげる。
  - 6年鎌倉遠足、蒲田から北鎌倉、鎌倉から蒲田までグループ毎の乗車や移動の体験を行った
  - 運動会、学芸会は新型コロナ前の状態に元に戻す。
- 担任と保護者のコミュニケーション、全員面談を7月/11月 年2回行ってもらう。
  - 相性があるだろうけど担任・保護者で、真摯に向き合うことが重要と考える
  - タブレットは、学校でも家でも決まりを守らせる、SNSルールを守らせる
  - 自転車にのるときはヘルメット着用
- 登下校中の危ない話があった場合は、学校でなく保護者から110番へ連絡する
- SDGsとして牛乳の飲み方をストロー無しに変えた
  - 給食の方が、ゴミが減ったと喜んでいる。
  - 先生方が指導の手順を合わせたことで1年生も飲めるようになった。中学でも継続しているらしい。
- いじめは予防する見つけて止める、初期に見つける・止める。
  - いじめられてよい人などひとりもいない
  - 子どもの心が満たされているといじめる側・いじめられる側どちらにもならない
- のび太君評価、子どもの伸びたところをほめてあげる、遊ぶ子は学ぶ君、あそばせてあげてほしい。
- 学校運営協議会を設置、地域学校協働活動（スクールサポート道塚）、宣伝する。

### ●学校経営方針について大場校長から説明があった。

- 特別活動、みんなで力を合わせてつくろうかっこいい学校・自分
  - かっこいい学校・自分を児童自身で考えて行動する。
- 特別支援、クラス替えしたら落ち着いたりする、先生が対応力を持つ。
- 地域、自立した運営組織になってきている。
- 学校と保護者と地域、自分事としてみんなで育ててほしい。

### ●学校運営協議委員から意見があった。

- 助けに入る先生は自分の仕事に加え助けに入るから忙しくなる。
  - 一人の人に仕事が偏らないように気を付ける必要がある
- タブレットとか教室の設備の修理依頼など先生でなくてもできることをやっている。
  - 先生の仕事を分散できないか考える必要がある
- 幼稚園と小学校とのかかわりが増えた、小中の連携もやっている。

→児童の体力向上に向けた支援、健全育成をやっていきたい。

→土日のワークショップ、エンジョイスポーツを新規にやる（月一回）

→特別支援教育の観点でのサポート、保護者に理解してもらう勉強会ができればと思う。

→ラビットクラブの飼育当番、委員会が始まった。

→委員会の人気があり、なれなかつ子もいる

→校長先生にほめられて子ども達もよろこんでいる

→民生児童委員として新1年生の見守りをやっている。

→今年度は学童が多い。

→子ども達がかたまりになって歩いている、多摩川児童館に曲がるところが危ない

→ローソンのところで指導員が見守っているように指導員にお願いできなか?

→4/30（日曜）にガーデンパーティがある

→今年度から、ふれあい蓮沼から各小学校が会場になる（今年度はおなづか小学校）

→PTAに引率をお願いしている、人数が把握しやすい。

→保護者会で学校・校長から保護者に伝えることは大事と考える。

→先生方が「保護者会でいいましたよね」と言える状況は必要

→公立校だけどサービス業化している。

→サービスの質を向上させようとすると人が必要となる

→先生でないと「できない」・「できる」を切り分けて人を当てる

→大田区として支援員さんに費用をだす制度はあるが、校長・副校長に探せと言われる。

→必要な支援について、学校運営協議会に情報を提供する

→学校から情報発信あれば地域としてできることは情報発信して手伝えることは手伝う。

→盆踊りは復活させる方向、やれることはやっていく

→現状の教育課程をみて先生になりたい人が何人いるかと考える。

→ICTなど新しい学習課題がでたら古い学習課題を捨てるなど

→児童事情も20年前から変わっている、変えていく必要がある

→学校施設利用者から日曜日・夜間に電話しても留守電になっており連絡がつかない。

→警備員さんが業務用携帯をもつとか、不在状態が解消できないか?

→教育活動外の範疇、区が契約している警備会社なので施設課にいってもらうのがよい

→卓球クラブのコーチを地域の方々にお願いしたい。

### ●大場校長から

→①地域の方々にCSを周知すること、②活動するための学校の仕組みや環境を整えること、③地域の人材をいれること、今年度の活動として重要なとります。

→学校運営協議会を見たい人には会議の見学を開放します

→地域の情報をあげて欲しい

### ◆令和5年度の学校行事について

→資料提供のみ

### ◆令和5年度の運動会について

→資料提供のみ

#### ◆教職員紹介及び意見交換

→先生方から自己紹介と今年度がんばることについて話があった。

- ・本を読む、振り返りをする
- ・子ども達と元気に遊ぶ
- ・授業の中で地域とかかわる、体験する
- ・→自分の得意な教科を見つける、授業力をつける
- ・学芸会を盛り上がるよう、しっかりやっていく
- ・初心にかえって真摯に向き合う
- ・学年全員の体力向上をがんばる
- ・運動会の協力をお願いします
- ・中学に向けて前向きに進めるようにしたい
- ・社会が好きな児童を二桁にする
- ・ICT 機器と仲良くする
- ・子どもたちの顔・クラス・名前を覚える
- ・国語研究をがんばる
- ・1年生にお仕事がんばってくださいと言われた
- ・文科省特例校申請する
  - ・この一年で「その教科が好きになったか」アンケートをとる

→学校運営協議委員から自己紹介があった。

以 上

次回：2023年7月8日（土曜）10:00～ 令和5年度 第2回学校運営協議会